

単元名 対話の練習

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くとともに、考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。
- (2) 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
- (3) さまざまな立場でやり取りを行い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめようとする。

標準的な展開例

04010202_001

【教材名】あなたなら、どう言う (上 P. 118～P. 119)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 教科書 (P. 118) を読み、グループで役割を決めてそれぞれの立場でやり取りをする。</p> <p>★お姉さんと弟の役になってやり取りをしよう。</p> <p>○教科書 (P. 118) を読み、場面について理解する。</p> <p>○グループで「お姉さん」「弟」「聞く人」に分かれ、やり取りをする。</p> <p>2 それぞれの立場の人が、なぜそのような言い方をしたのかを話し合う。</p> <p>★よりよい言い方を考えよう。</p> <p>○「お姉さん」「弟」がどのような発言をしたかを確認する。</p> <p>○なぜそのような言い方をしたのか話し合う。</p> <p>○よりよい対話をするためにはどうしたらよいか話し合う</p> <p>3 自分とは違う立場になって考えることのよさについて考える。</p> <p>○教科書 (P. 119) を読み、自分とは違う立場になって考える大切さを知る。</p>	<p>・互いが納得する言い方を考えさせる。</p> <p>・役割を交代して何度か行わせる。</p> <p>【評】それぞれの役でやり取りをする活動を通して、言葉の働きに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <p>・言われたときにどんな気持ちになったかについても、感想を伝え合うようにする。</p> <p>【評】互いの意見の共通点や相違点に着目して話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】よりよい対話をするために必要なことを話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・日常の場面を想起させ、どのような言い方をするとよいか考えを広げていけるとよい。</p>

【 備 考 】